

九州帝国大学新聞

<https://hdl.handle.net/2324/1520381>

出版情報：九州大学新聞. 185, 1938-08-05. 九州帝国大学法文会新聞部
バージョン：
権利関係：



馬×××

食々々學活動は疑にな
田村君も入りて、北九
府の代表的文學大學「
小倉の」とらしん
の「第九文學」九州樂
留米の「文學會館」の四
體の名義を合同して、
の巻に力強い言葉を
の事として。そへば
「南方の」地方。そ
九州の總界をその下
率して、地方主義の
大運動を起さんとする
その二文學團體の
に一瞥を加へ、北九
府長官、火野紫、中井
鶴兵衛、松本、田中
池上源一、古賀由紀、松
及澤春樹、北宮武夫、
久保、森永、二宮匠正
良忠誠さうに多く

會
浩

[illegible]

原田種夫

[illegible]

福岡 衛

[illegible]

氏の『俳句は十七字の詩で

「輝く国産!いつも快調」

ネオパン
ネオクロム

富士フイルム

いに活躍された作家である
その幕下に人材なく自鳴節

[illegible]

高安 熊本縣鹿本郡八幡村字石二

[illegible]

大連市 滿鐵本社總裁室

[illegible]

教室副
書店
電話
6673

[illegible]

したのであるが、昭和十一年の龍は俳句に於ける一大革新の烽火を擧げたのである。氏の『俳句は十七字の詩でもといふ無季俳句建設の宣言書』を、爾來今日に至る迄経書、雑誌、原稿、山口草虫社、及び前記諸作家と協力して、を文藝としての本然の姿にめづるべく、理論工作に實作力を注いでゐる。中央文化

[illegible][illegible]

[illegible]

連句管見

藏內數太

[illegible]

浦瀨白雨

[illegible][illegible]

二の型

中山竹二部

[illegible][illegible]

獨逸浪漫派と神話

小牧健夫

芝居を樂しんだ頃

[illegible]

進藤誠

か、今から考へると仲
題である。私としては

受は實業的なものはしれども、
 受は私語めて芝居といふものを、
 のは芝居の時であつたか、よ、
 したか、うへに學に達し
 の前、の頃はなかつたとす明
 受は、七十七年、芝居を始める
 受は實業的なものはしれども、
 受は私語めて芝居といふものを、
 のは芝居の時であつたか、よ、
 したか、うへに學に達し
 の前、の頃はなかつたとす明
 受は、七十七年、芝居を始める

[illegible][illegible][illegible]

東
 洋
 軒
 學生さんの食堂

句ひがよくて・洗ひ落のちのい
ラランポンポマド
 代理店 井上吉商店
 福岡市下町二十番地
 電話 〇三二五番

正札
 生田洋品店
 博多・川崎両店
 電話 〇三三三

NEW FASHION
 GOODS SELLER
IKUTA
 Foreign articles
 store
 KAWABATAMACHI HAKATA
 TEL EAST 3383

愈々充實
 買ふも、賣るも
 誠心、誠意
 皆様の
 『機曾の本屋』

(醫工、法、經、哲、外専門書)
 新 古市店 春陽堂書店
 連池電車通